

第4回海釣機能専門分科会資料

ソフト費用（運営者、集客策、ランニングコスト）について

運営

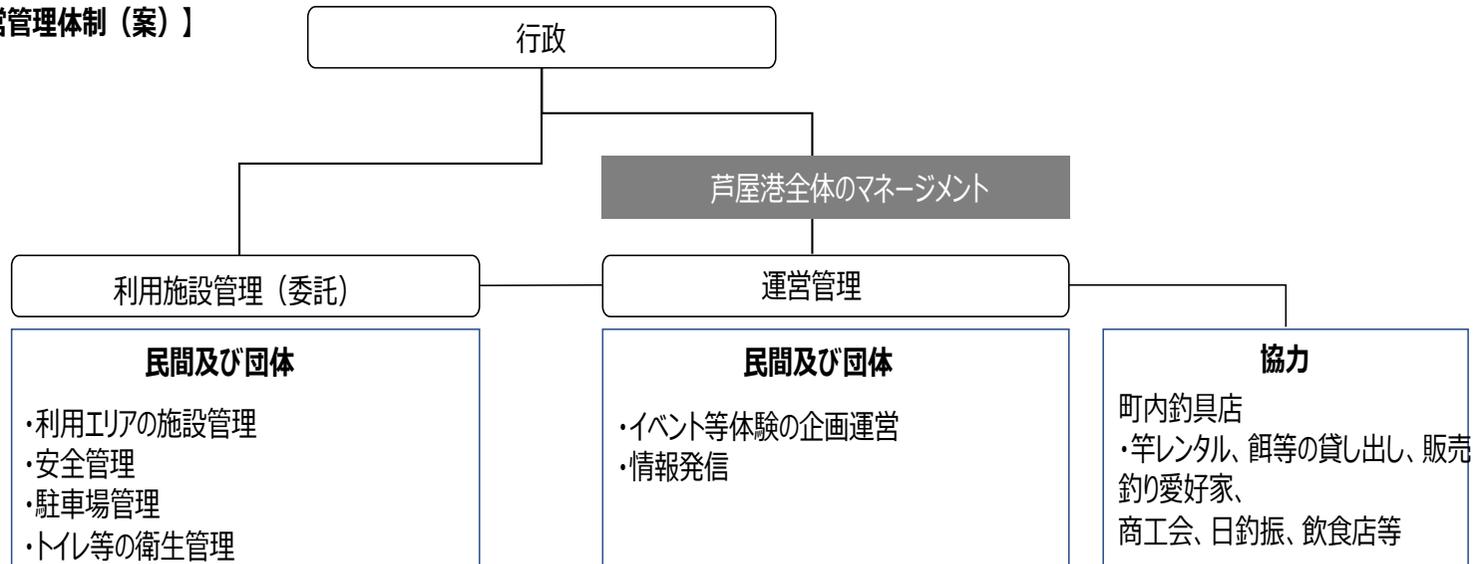
集客策

ランニングコスト

## 【運営】

施設の運営体制については、安全管理、運営管理、企画、経理視点から芦屋港全体のマネージメント組織化が必要。  
施設の利用管理については、施設管理委託により運用。

### 【運営管理体制（案）】



## 【集客策】

### ○認知度向上

・WEB、SNS等を活用し、親子・ファミリー層に向け、特にGW、春休み、夏休みの利用を促進

### ○観光連動

・観光イベント等にあわせ、町内外での告知を図り、体験利用を促進

### ○イベント等

・フィッシングイベント等との連携、日本釣振興会等と連携した体験教室等を実施

### ○芦屋港全体での集客

・飲食、物販等と連携した、滞在型の体験としての利用促進

## 【ランニングコスト】

### 利用施設管理ランニングにかかる参考費用

項目	管理形態	水道光熱費等	清掃管理費
トイレ 手洗い場	委託管理	上水道：年間使用料1,115m <sup>3</sup> 、年間料金280,304円 下水道：年間料金293,202円 電気：年間使用料2,543kWh、年間料金120,814円	1回当たり2,500円 週2回年104回 年間料金260,000円
		* 水道光熱費については、類似施設として海浜公園の第3トイレにかかる費用を参考に試算 * 清掃管理費用については町内業者費用を参考に試算	
街灯		電気料（想定）	
		400w水銀灯 4台	
		1日当たり	1ヶ月当たり
		19.2kWh	576kWh
		年間	年間
		6,912kWh	6,912kWh
		使用量	
		19.2kWh	576kWh
		電気料金	
		単価16.5円×19.2Kwh = 316.8円	316.8円×30日 = 9,504円
		基本料金	
		264.6円	264.6円×12ヶ月 = 3,175円
		合計	
		9,768.6円	117,223円
		* 街灯電気使用量については、1日あたり12時間使用を参考に試算 * 電気料金単価、基本料金は（公衆街路灯B）九州電力基本料を参考に試算	

\* 上記費用は、参考費用